



中里高校新聞

発行:青森県立中里高等学校
住所:青森県北津軽郡中泊町
大字高根字小金石567
電話:0173-58-3149

体育祭開催 若さ躍動 初夏の風に吹かれて

体育祭前日の六月一八日(木)は、午後から生徒及び職員総出で準備が行われた。テントの設営、走路の草取り、ライン引きといった作業を、生徒たちはそれぞれの役割に徹して、ときばきと進めていき、瞬間に準備が整った。実に楽しそうに作業しているのが印象的であった。



一九日(金)、体育祭当日の朝、生徒玄関には保護者の方がずらりと並んだ。「おはよう」「おはようございます」いつもよりも挨拶を交わす声が賑やかに響いていた。生徒たちに心をこめた挨拶の一声をかける「一声

運動」の一幕だ。



「ただいまから、令和二年度中里高等学校体育祭を開催します」生徒会副会長三年生の山谷雅玖人君の力強い開祭宣言で体育祭は始まった。大会長・白濱校長の挨拶、生



徒会長三年生の野上流聖君の挨拶に続き、陸上競技やり投げで東北大会出場の実績を持つ三年生佐々木悠貴君が選手宣誓を行った。体育委員長の三年生森田凧彩さんのはつらつとした模範演技でラジオ体操を行った後、いよいよ競技が開始となった。競技種目は次のとおり。

- 一 一六〇メートル走
- 二 二うずしおむかで競争
- 三 障害物競走
- 四 綱引き
- 五 六〇メートル走決勝
- 六 フライングカーペット
- 七 ダンボールリレー
- 八 全校リレー
- 九 じゃんけん大会
- 一〇 椅子取りゲーム



一年生のいない今年度は、二年・三年生縦割り、赤・青・緑の三チーム

を編成し、各種目の総合得点でチームの順位を決定することとした。皆、実にいきいきと走り、跳び、楽しそうに競技に臨んでいた。順位は、緑が一位、青が二位、赤が三位となった。



昼には、保護者の方々が作ってくださった美味しいカレー(辛口・甘口)をみんなで食べた。

こんなに和やかで、豊かな思いを味わえる体育祭は、そうそうあるものではない。生徒たちに、幸せな記憶がまた一つ刻まれた。



危険物取扱者 特定試験

六月一六日(火)に実施された危険物取扱者特定試験(丙種・乙種)の合否が、二九日(月)に明らかとなった。この試験に向けて、二年生二名、三年生七名、計九名の生徒たちは、外部講師を招いて開催した五月九日(土)、一六日(土)、二三日(土)、六月七日(日)、計四回の講習会に休日返上で参加、真剣に勉強してきた。残念ながら不合格となってしまう人にも、秋にもう一度チャンスがある。この悔しさを糧にして、次こそは合格を勝ち取って欲しい。



写真は第四回講習会の様子

バスケット部・陸上部

七月に総体代替試合



県高校総体が新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となったが、各競技専門部は、部活動に打ち込んできた生徒たち、特に三年生のために代替試合の実施を独自に検討してきた。

七月四日(土)には、西北五地区の総体バスケットボール競技代替試合である、夏季バスケットボール競技大会西北五地区予選が開催され、本校バスケットボール部も参戦する。実はバスケットボール部員は、三年生の小寺駿平君と山谷雅玖人君、二年生の中島海里君の三名のみ。陸上部の三年生佐々木悠貴

君、野上流聖君の二名が助っ人で加わり試合出場する。

取材した六月二二日(月)は、実践を意識した三人対三人の試合形式練習を行っていたが、決して手を抜くことのない真剣な姿勢に圧倒された。人数が揃わない時には、顧問の野上享仁先生も練習に



加わって汗を流す。試合の日は、七月四日(土)。つがる市柏総合体育センターにて二ゲームが行われる。最初の試合は午前一時から、対戦校は五所川原第一高校である。二試合目は、一五時三〇分から、五所川原高校と五所川原農林高校の敗者が対戦相手となる。

なお、陸上競技部の代替試合となる県春季陸上競技選手権大会は、七月一八日(土)、一九日(日)と二三日(木)、二四日(金)に新県総合運動公園にて開催(陸上部の活躍については次号の新聞で紹介する)。

第一回音楽集 会開催

六月四日(木)朝、今年度最初の「音楽集会」を開催。歌う曲は「世界に一つだけの花」。おとなしい中里高生の殻を破りたいと、高橋道尊先生の発案で始まった行事だ。

広い体育館の窓・扉を

開放、互いの間隔を大きくとるとともに、マスクも着用することにした。しかし、マスクの窮屈さと、生徒同士の距離の開きは、声を出す原動力となる集団の一体感を生み出すことを邪魔する。

第一回目の音楽集会は、残念ながら不完全燃焼に終わった観がある。高橋先生は、「生徒の中からモツケが出てくれれば」と語る。「モツケ」とは、津軽弁で自らの恥や損を顧みず、率先して事を行う人のことだ。集団の成長にモツケが果たす役割は大きい。愛すべきモツケが、数多く現れることを期待したい。



交通安全教室



六月二五日(木)、外部講師を招くことが多かった交通安全教室を、今回は本校教員が講師を務めて実施。高橋道尊先生のずしりと染みる語りに加え、被害者の父の悲しみが痛いほど伝わるビデオを上映。

さらに、悲惨な交通事故で妹を失った姉の手記を、岩崎彩香先生が情感を込めた朗読で紹介。野上享仁先生からは、学校の近くで起こった生々しい交通事故の話も披露された。

三年生の成田悠大君は、「いつもの交通安全教室と違い、身近な先生の話で親しみが持てたし、分かりやすかった」と感想を述べた。

七月の予定

- 一日(水) 常識テスト④
- 内科検診
- 進路ガイダンス
- 六日(月)～一〇日(金) 特別学習期間
- 八日(水) 眼科検診
- 九日(木) 歯科・耳鼻科検診
- 第一回防災避難訓練
- 二三日(月)～一六日(木) 一学期期末考査
- 一七日(金) 英語技能検定
- 同窓会役員会
- 第一回閉校実行委員会
- 二一日(火) 常識テスト⑤
- 情報処理技能検定
- 二二日(水) 遠足
- 二七日(月) 授業料等口座振替日
- 二九日(水) 常識テスト⑥
- 三一日(金) 終業式
- 大清掃
- 職業講話